

事業所名 ふたばデイサービスセンター

## 第3回 運営推進会議開催報告書

開催日時 平成 <sup>29</sup> <del>28</del> 年6月20日（火）14時00分～15時00分	
参加者	議題
利用者 0名 利用者家族 1名 地域住民の代表者 2名 市職員 1名 地域包括支援センター 1名 事業所 3名	・施設の概要説明 ・意見交換等
会議録	
<p>1. 会議目的等の説明</p> <p>2. 各委員自己紹介</p> <p>3. 認知症対応型デイサービス見学及び概要説明 別紙「活動状況報告書」の通り その他、リーフレット、利用料金表、デイサービスだよりを使用。</p> <p>4. 意見交換</p> <p>民生委員①「西山町には3名の民生委員がいるが、他の民生委員との連携はとれているのか」 →デイサービスとしては連携をとっていないが、地域包括支援センター職員は年度初めの会議に参加したり、地域での困りごとがあるときに連絡をしあったりしている。今後も顔の見える関係作りにつとめていきたい。</p> <p>②「特別養護老人ホームについて、入所のための診断書は必要なのか？」 →入所の際健康診断書は必要。入所の要件として、要介護度3以上を基本としている。入所申し込みは要介護1以上で受け付けている。</p> <p>③「介護保険サービスを使う際、どうしても安い利用料のところを選ぶ人が多い。サービスの質を上げるためにも利用料を一律にしたらどうか。国や市がもう少し負担し、高齢者に住みやすい市にしてほしい」</p> <p>④瀬戸市内に認知症の人が何名いて、デイを希望している人がど</p>	

れだけいるか把握しているか。デイは足りているか。

瀬戸市より→認知機能が低下していても受診をしない等で実人数を把握することはできていない。しかし、市内の認知型デイサービスの定員にまだ空きがあるため、充足していると考えている。

ご家族①「介護認定について、判定が厳しくなっていると聞くがどうか」

瀬戸市より→判定が特に厳しいわけではないと考えている。認定調査員の講習会を開いたりして、調査員の質を上げている。認知症の部分も考慮して調査している。

町内会長①「西山町2丁目のサロンに参加した。参加者は女性が多く、サロンに参加する以外にも楽しみを持っている方が多くいるように感じた。サロンに参加しない高齢者はご自分でも外出の機会が少ないのではと考えると心配。」

→近所などで、身なりが少しおかしかったり、最近外で見かけないなど、以前と変わった様子のある高齢世帯については、包括支援センター職員が訪問できるので、相談してほしい。

#### 5. 次回会議開催日程

平成29年11月22日（水）14：00～15：00

議事録作成者 服部ゆう子

事業所名 ふたばデイサービスセンター

活動状況報告書

＜サービスの概要＞		備考
名 称	認知症対応型ふたばデイサービスセンター	
利用対象者	瀬戸市にお住まいの認知症のある方	
定 員	12名/1日	
営 業 日	月曜日～土曜日（年末年始休）	
サービス提供時間	9時～16時10分	
利 用 料	別紙「利用料金表」参照	
職 員 数	1日あたり 5～6名 管理者1名、相談員1名、介護員3～4名 機能訓練指導員1名（2時間）	
介護福祉士率	約84%	
理 念	ふれ愛あなたと笑顔で	
サービスの特徴	別紙「リーフレット」参照	
1日のメニュー	送迎→健康チェック→入浴又は機能訓練→ 昼食→レクリエーション又は機能訓練→送 迎	

＜平成28年度利用実績＞		備考
営 業 日 数	310日	
利 用 実 人 数	22名～26名/1月あたり	
1日平均利用者数	9.1人	
平 均 年 齢	男性86歳、女性85歳	
会議・研修開催状況	グループ会議月1回、 委員会活動又はQCサークル活動月1回 研修・勉強会月1～2回 *主な研修内容 安全運転講習会、緊急時の対応、介護記 録の書き方、リスクマネジメント、個人情 報保護・倫理及び法令遵守など。	
その他の取り組み	重点的取り組んだ課題 「認知症対応型デイサービスの在り方検討 （サービスの見直し、延長利用の検討）」	
その他サービス	薬湯、スイーツめぐり、移動売店	